



心豊かに たくましく 共に学び合い高め合う 高西っ子の育成

『ひろがれ 笑顔 つながる 高来西』

諫早市立高来西小学校 校長 西村直子

令和7年7月8日(火)

平和教育



今年も教育週間の中で、子どもたちに戦争体験等の話を講師の方々に来ていただき、聞くことができました。

低学年には、昨年に引き続き被爆体験記朗読ボランティア「被爆体験を語り継ぐ 永遠の会」の方々でした。子どもたちに分かりやすいように短いお話や当時の子どもの作文、戦争の時の暮らしや原爆が落ちた当時の様子について話していただきました。

高学年には、長崎被災協、被爆二世の会・諫早の方々で、被爆救援列車で運ばれてきた方々の救護にあたった氏原和雄さんの体験談をもとに作られた紙芝居を中心に話を聞きました。また、モデルとなっている氏原さんには当時の実体験についても話していただきました。氏原さんは、小江尋常高等小学校出身（校舎は小江公園の下にあったそうです）で地元の方です。身近にこんな体験をされた方がいらっしゃり、実体験を聞いたことはとても貴重なこととなりました。



被爆救援列車の紙芝居制作から発表されるまでを、NHKやN I Bが取材されています。長崎被災協や被爆二世の会の方々、氏原さんの活動に加えて、高来西小での紙芝居発表の様子も放映されるようです。

NHK 7月10日(木) 18:10~「ぎゅっと長崎」

N I B 8月6日(水) 予定 (時刻等は未定です)



7月8日(火) 縦割り活動の時間には、縦割り班で折鶴を折りました。上級生が下級生に教えながら、一緒に折りました。折った鶴は糸を通し、6年生が千羽鶴に仕上げてくださいます。登校日である8月9日(土)は平和集会を行い、1日平和について考える日となります。

高来西小学校では、4年生の総合的な学習の時間で、戦争や平和について考え、長崎原爆遺構見学（毎年6月ごろ）をしたり、全学年、戦争体験について話を聞いたりして、8月9日の平和集会へつなげています。戦後80年となりましたが、校区内においても坂本少佐慰霊碑や五竜号慰霊碑、小江地区や深海地区にある殉国慰霊塔があるなど戦争を知るものが残されています。戦争を語り継ぐことは難しくなっていますが、少しでも子どもたちの心に残る学習を行っていきたいと思っています。